

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)
(公 印 省 略)

営農情報 1

いよいよ本格的な農繁期となります。農業者のみなさまは、国民への食料の安定供給等に重要な役割を担っています。厚生労働省等の情報に基づいて、徹底した新型コロナウイルス対策を実施し、農作業を実施してください。

- ① 体温の測定と記録。
- ② 発熱などの症状がある場合は、関係者への連絡と自宅待機。
- ③ 37.5℃以上の熱が4日以上継続した場合等は、関係者に連絡の上、保健所に問い合わせ。
- ④ 屋内で作業をする場合は、できる限りマスクを着用 多人数で行う場合等、状況に応じて換気を行う。
- ⑤ 集出荷施設等への入退場時には手洗い、手指の消毒。
- ⑥ ドアノブ、手すり等人がよく触れるところは、拭き取り清掃。

○会議・行事等は、開催の必要性を検討し、開催する場合は風通しの悪い空間をなるべく作らないなど工夫してください。

水稻生産は、以下の点に留意しましょう。

1. 健全な苗づくりをする
2. 適期に移植する
3. 前年夏作が大豆のほ場は基肥を減らす

《1. 品質の良い米づくりは健全な苗づくりから！》

近年、育苗期にいもち病やもみ枯細菌病の発生が増加しています。菌を本田に持ち込まないように、育苗期から対策を徹底しましょう。

【いもち病対策】

- ・塩水選及び種子消毒の徹底。
- ・育苗箱への薬剤かん注処理や箱施薬など、予防対策の徹底。
- ・置き苗の早めの除去（いもち病の発生源になるため）。
- ・本田では多肥栽培を避け、ケイ酸質資材も施用する。

【もみ枯細菌病対策】

- ・塩水選や種子消毒の徹底。
- ・出芽期～緑化期の高温多湿（32℃以上）を避ける。

《2. 水稻は適期に移植しましょう！》

近年、福岡県の水稲品質は低下しています。

(令和元年度水稲うるち米 1 等比率：全国 73.1%、福岡県 17.9%)

収量、品質向上のため、品種に応じた以下の適期に移植しましょう。

品種	移 植 適 期 (平坦地の場合)
夢つくし	6月10日～20日
元気つくし	6月10日以降 (6月下旬が望ましい)
実りつくし	6月20日頃
ヒノヒカリ	6月21日以降

適期より早く移植すると・・・

① 検査等級や収量が低下します。

(登熟期間が高温に当たり、白未熟粒や充実不足粒が発生するため)

※ 高温耐性品種の「元気つくし」でも早植えにより検査等級や収量が低下します。

② ウンカ類や縞葉枯病が多発しやすく、被害が大きくなります。

《3. 前年夏作が大豆や地力の高いほ場は基肥を減らしましょう！》

前年夏に大豆を作付けしたほ場では、水稻の生育が旺盛となり、倒伏等による収量低下が見受けられます。

○生育過剰による倒伏を防ぐため、以下のようなほ場では 10a 当たりの基肥量を基準より窒素成分で 2～3kg 程度 (基肥一発肥料の場合、肥料の量を 10～15kg/10a 程度) 減らす。

- 地力の高いほ場
- 過去に倒伏したほ場
- 前年夏に大豆を作付けしたほ場

前年作の影響と基肥量

肥沃地や前年作が大豆後のほ場では、**稈長が伸びやすい。**

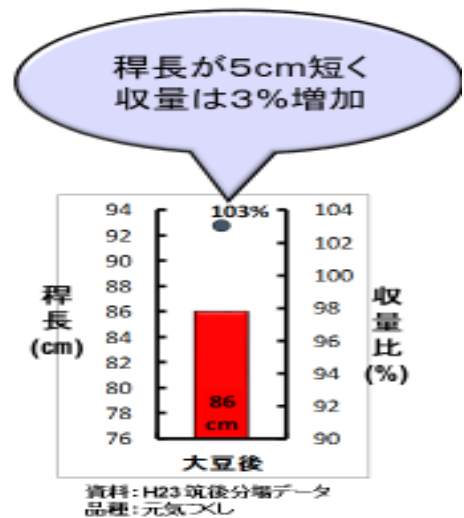
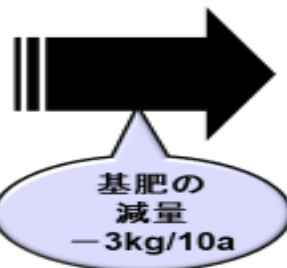
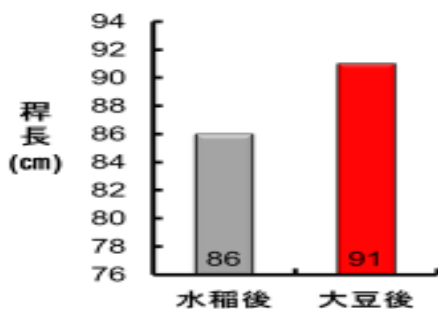


図 前年作の違いによる稈長と基肥減量の効果

・大豆後作で、基肥が多い場合は、倒伏に注意